## IMF サーベイ

世界金融危機とアフリカ

アフリカ諸国、政策強化により世界 危機を脱却

> コートジボアール・アビジャン のリプスキー筆頭副恵務理事け

IMF サーベイ・オンライン 2010年2月17日

- コートジボアール・アビジャンの携帯電話販売店: IMF のリプスキー筆頭副専務理事は、アフリカ諸国の成長率が 上昇すれば、雇用創出と所得増加が期待できると述べた。 (写真: Issouf Sanogo/AFP)
- アフリカ諸国、過去に比べ危機対応に成果
- 成長パフォーマンスの更なる改善が不可欠
- ビジネス環境の改善に進展を

国際通貨基金 (IMF) のジョン・リプスキー筆頭副専務理事がアフリカ2ヵ 国を訪問し、その第2 の訪問国であるガーナの議会で演説を行った。この中 で同氏は、アフリカの多くの国が構造改革を実施すると共に、金融政策及び 財政政策を強化したことで、この度の世界金融危機を過去と比較し首尾よく 切り抜けることができたと述べた。

国際通貨基金 (IMF) のジョン・リプスキー筆頭副専務理事は、アフリカはこの度の世界金融危機をこれまでと比較し首尾よく切り抜けることができたが、その背景には、多くの国が構造改革を実施すると共に、金融政策及び財政政策を強化したことがあると指摘した。

リプスキー氏は首都アクラにあるガーナの議会で、アフリカ諸国の多くがこの度の 世界金融危機を、これまでの経験のみならず他国と比較したうえでも成功裏に切り 抜けることができたとし、「これは、多くの国が実施した構造改革、並びに金融及 び財政政策の強化が功を奏したことによるところが大きい」と述べた。

さらにリプスキー氏は、「アフリカ諸国の中央銀行は危機当初、これまで以上に外 貨準備高を保有していたため、国際収支上のショックを緩和することができた」と 指摘し、さらに「IMFやその他のドナーが債務救済を実施した結果、ビジネス環境 の改善、インフラ投資、貧困層の支援向けの財源の確保が実現した」と述べた。

2月17日、アクラでリプスキー筆頭副専務理事は、経済系シンクタンクのメンバー、 学識者、青少年指導者、労働組合幹部、市民社会グループおよび国際機関当局者な ど、100名を越える聴衆を前に演説を行った。リプスキー氏はこのガーナ訪問の前 にリベリアを訪れている。来月初旬にはドミニク・ストロスカーン IMF 専務理事が、ケニア、南アフリカ及びザンビアを訪問する予定となっている。

## 世界的景気後退の遺産

世界的景気後退の結果、成長は低迷し貧困は増加した。リプスキー筆頭副専務理事はこのような状況を背景に、アフリカ諸国は雇用創出並びに所得増加を加速させるべく、成長パフォーマンスの更なる改善に努めることが求められると述べたが、その実現には、マクロ経済運営・ビジネス環境の更なる改善が肝要である。

さらにリプスキー氏は、世界的景気後退によりアフリカは著しい被害を受けたと指摘した。アフリカ諸国は2002年以降、平均して6%超の成長率を記録してきたが、昨年は平均で約1%だった。これは、1人当たり国民所得が前年比で1%減少したことを意味しており、過去10年で初めてアフリカの生活水準が低下したことになる。

リプスキー筆頭副専務理事は、金融危機に際し低所得国が、IMF 融資に迅速にアクセスできるよう対策を講じ、国際収支を改善することで経済の縮小と更なる景気後退の回避を図ったと述べた。

同氏は「昨年のサハラ以南のアフリカ諸国に対する IMF の新規融資額は、その前年の約5倍になり、50億米ドルに達した。これらの貸付の大半には、非常に低い金利が適用されており、例えば、低所得国向け融資の金利は2011年まではゼロ金利、その後は僅か0.25%に設定されている」と説明した。

## より柔軟なアプローチ

「IMF 融資は詳細な部分まで加盟国のニーズに合わせたものであるため、加盟国で一時的かつ緊急のニーズが生じた場合、低コストの資金を迅速に支払うことが可能であり、また適切と判断された場合には、融資の実行を複数年に渡って行うとする取極を結ぶことができる。さらに、各国の公的借り入れ管理に対する現在の我々のアプローチは、マクロ経済及び財政状況が良好で十分発達した債務管理機関を有する国に対しては、より一層柔軟な対応を行うものとなっている。」

世界金融危機を乗り切ることができるかという各国の懸念を緩和するため、IMFの加盟国は、特別引出権(SDRs)の一般配分を承認した。これにより約2,500億ドルが世界経済に投入され、IMF加盟国186カ国に配分された。

リプスキー筆頭副専務理事は「景気刺激策に関し先進国が連携を行った結果、世界 経済は安定化しつつあり、実際多くの先進国では成長回復の兆しが見えていること は、歓迎すべきニュースである。この傾向はいずれ、アフリカ諸国でも益々顕著に なっていくだろう」と述べた。